

# TEAC

## 第64期 中間報告書

平成23年4月1日～平成23年9月30日



ティアック株式会社

証券コード：6803

## ごあいさつ

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は平成23年9月30日をもちまして、第64期（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）の中間期を終了いたしましたので、ここに当社グループの事業の概況につきましてご報告申し上げます。



代表取締役社長  
英 裕治

## 連結業績ハイライト

	第61期 平成21年3月期	第62期 平成22年3月期	第63期 平成23年3月期	第63期(中間) 平成22年9月期	第64期(当中間) 平成23年9月期
売上高 (百万円)	51,188	40,739	36,867	19,437	12,857
営業利益 (百万円)	1,265	554	1,003	305	△438
経常利益 (百万円)	134	31	348	△90	△684
当期純利益 (百万円)	130	64	△1,303	△461	△675
1株当たり当期純利益 (円)	0.45	0.22	△4.52	△1.60	△2.34
総資産 (百万円)	26,883	26,933	21,289	24,705	18,976
純資産 (百万円)	5,946	5,805	3,824	4,604	2,491

## 当中間期の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、3月11日に発生した東日本大震災の影響から持ち直しつつあるものの、円高の影響により企業収益が減少するなど厳しい状況が続いております。また、米国経済は高失業率が続き景気回復が極めて鈍く、欧州では財政危機の影響もあり、景気持ち直しのテンポが緩やかな状況にあります。

このような状況下において、当中間連結会計期間は、光ディスクドライブの需要低迷とEMS事業の不振に加え、原材料費や中国における人件費高騰等のコスト増加や円高の影響もあり、厳しい経営環境となりました。その結果、当中間連結会計期間における売上高は128億5千7百万円（前年同期比33.8%減）、営業損失は4億3千8百万円（前年同期営業利益3億5百万円）、経常損失は6億8千4百万円（前年同期経常損失9千万円）、中間純損失は6億7千5百万円（前年同期中間純損失4億6千1百万円）となりました。

## 経営課題に対する取り組み

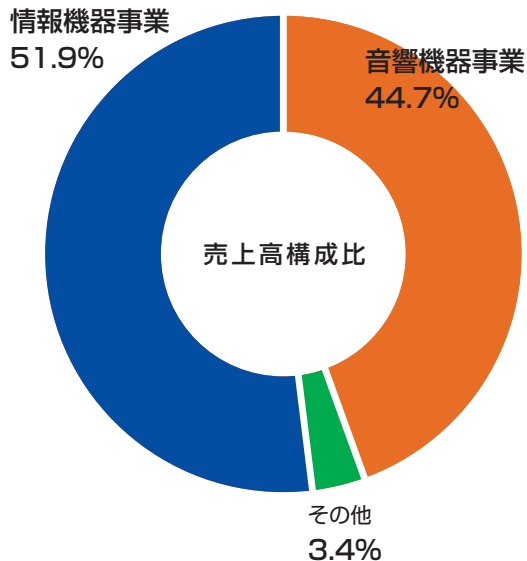
当社グループを取り巻く環境は、引き続き国内外の経済情勢が不安定であり、また、当期において、光ディスクドライブの売上高が市況の悪化に伴う競争の激化による当社製品のシェアダウンにより大幅に減少することが予想されていたことから、適正規模の人員構成を実現し業績の悪化を回避するため、平成23年7月に希望退職者の募集の構造改革を実施いたしました。その効果が顕著になるのは第3四半期以降となります。

また、平成23年7月16日付にて、組織数の削減、重層構造の解消による指揮命令系統の明確化をさらに推進するため、従来の4事業部体制から音響機器事業（コンシューマオーディオ事業とプロフェッショナルオーディオ事業を統合）と、情報機器事業（インフォメーションシステム事業とストレージデバイス事業を統合）の2事業部体制に移行いたしました。

当社グループは、平成25年3月期を最終年度とする中期事業計画『TEAC T<sup>2</sup> Project 2013』（平成23年5月11日発表）を引き続き推進し、開発・生産・販売の各バリュー・チェーンにおけるコスト構造の改革により、低成長時代に打ち勝つ強靱なコスト競争力を身につけ、高収益体質への変革を図ってまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年12月



当社グループは、従来コンシューマオーディオ事業、プロフェッショナルオーディオ事業、インフォメーションシステム事業およびストレージデバイス事業の4事業部体制としておりましたが、当中間連結会計期間より、コンシューマオーディオ事業とプロフェッショナルオーディオ事業を統合した音響機器事業およびインフォメーションシステム事業とストレージデバイス事業を統合した情報機器事業の2事業部体制に移行しております。

## 音響機器事業

売上高 5,754 百万円  
(前年同期比 2.4%減)

営業利益 54 百万円  
(前年同期営業損失△ 220 百万円)

コンシューマオーディオとプロフェッショナルオーディオの統合により、生産・販売面での相乗効果、企画・開発面でのリソース相互活用と固定費の削減を図ってまいります。



(\*1) スーパーオーディオ CD プレーヤー [K-01]



(\*2) (平成 23 年 8 月発売) スーパーオーディオ CD/CD トランスポート [P-02]

## 情報機器事業

売上高 6,667 百万円  
(前年同期比 45.9%減)

営業損失 △ 447 百万円  
(前年同期営業利益 393 百万円)

インフォメーションシステムとストレージデバイスの統合により、固定費の削減と高付加価値事業への転換を進め、逡減する売上高においても増益を目指してまいります。

(\*5) 旅客機搭載用エンターテインメント送出装置 [VE-801HDD]



高級 AV 機器 (ESOTERIC ブランド) は、SACD プレーヤーのフラッグシップ機<sup>(\*)1</sup>が引き続き好調を維持し、また第2四半期に投入した新製品<sup>(\*)2</sup>も好評価を受けた結果、前年同期比で増収増益となり営業黒字に転換しました。

一般 AV 機器 (TEAC ブランド) でもコンポ系商品<sup>(\*)3</sup>の伸張により回復傾向が見られ、特に国内市場向け販売が好調に推移しました。しかしながら、欧米での景気減速の影響を受けて、前年同期比では減収となりましたが、営業損失は縮小しました。

音楽制作オーディオ機器 (TASCAM ブランド) は、前連結会計年度末に投入した新製品の PCM レコーダー<sup>(\*)4</sup>の販売が全世界的に好調に推移しました。特に、第2四半期は市場回復の傾向が見られましたが、震災の影響により国内の設備市場向け業務用音響機器の販売が低迷したこと、サプライチェーンの混乱によるキーコンポーネントの入手難により商品の供給が一部滞ったことなどの要因により、前年同期と比較して減収減益となりました。

音響機器事業全体では前年同期と比較して、若干の減収ながらも営業黒字に転換しました。

ESOTERIC

(\*)2



デュアルモノ D/A コンバーター [D-02]

TEAC

(\*)3



シンクロ録音&amp;オートトラック機能搭載の CD レコーダー [CD-RW890]

TASCAM

(\*)4

(平成 23 年 3 月発売)

[DR-05]



[DR-07MK II]

楽器演奏やバンド演奏の録音、会議録音など、幅広い用途で高音質な録音が可能 リニア PCM レコーダー

航空機搭載用記録再生機器<sup>(\*)5</sup>は、米国の景気後退と急激な円高の影響を受けながらも安定した販売を維持しました。計測機器は、データレコーダー<sup>(\*)6</sup>が鉄道関連用途として国内外から引合が増加、競合メーカーの撤退なども影響し、販売は順調に推移しました。医用画像記録機器<sup>(\*)7</sup>は、OEM 販売は低調でしたが、TEAC ブランドが安定した販売を維持し、好調に推移しました。ディスクパブリッシング機器は海外・国内ともにほぼ計画通りの販売となりましたが、通話録音機器とソリューションビジネスは、長引く IT 投資の抑制から低調な推移となりました。

(\*)6



実験室やフィールドで電圧、音、振動、ひずみ現象などのデータを収録し、よりスピーディーな処理を目的としたレコーディングユニット [LX-110]

(\*)7



ネットワーク対応 HDD/SD 静止画レコーダ [MV-10X]

(\*)8



ウルトラスリム DVD-ROM [DV-18S-B]

また、光ディスクドライブ<sup>(\*)8</sup>は、第2四半期よりコストダウンタイプへのモデルチェンジを順次実施したものの、DVD-ROM ドライブが他社参入によりシェアダウンしたこと、DVD-R/RW/RAM ドライブが市場在庫過多による影響を受けたこと、前連結会計年度にフロッピーディスクドライブの販売を終息させたことなどにより、前年同期と比較し大幅な減収となりました。

光ディスクドライブ事業の業況悪化の影響が大きく、情報機器事業全体では前年同期と比較して、大幅な減収および営業損失を計上する結果となりました。

(平成 23 年 8 月発売)

## 中間連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

	当中間期 平成23年9月30日現在	前期 平成23年3月31日現在
<b>■ 資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	15,256	17,020
現金及び預金	4,457	5,318
受取手形及び売掛金	4,304	5,107
商品及び製品	4,183	3,892
原材料及び貯蔵品	1,451	1,589
その他	979	1,245
貸倒引当金	△ 120	△ 132
<b>固定資産</b>	3,719	4,268
有形固定資産	2,710	2,910
無形固定資産	401	554
投資その他の資産	607	803
<b>資産合計</b>	<b>18,976</b>	<b>21,289</b>

	当中間期 平成23年9月30日現在	前期 平成23年3月31日現在
<b>■ 負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	9,054	9,725
支払手形及び買掛金	2,544	2,321
短期借入金	4,485	4,429
1年内償還予定の社債	—	40
1年内返済予定の長期借入金	14	15
賞与引当金	289	188
製品保証引当金	235	285
返品調整引当金	72	73
事業構造改善引当金	53	587
その他	1,360	1,785
<b>固定負債</b>	7,430	7,739
<b>負債合計</b>	<b>16,484</b>	<b>17,464</b>
<b>■ 純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	7,694	8,369
資本金	6,000	6,781
資本剰余金	306	1,008
利益剰余金	1,494	687
自己株式	△ 106	△ 106
<b>その他の包括利益累計額</b>	△ 5,202	△ 4,545
<b>純資産合計</b>	<b>2,491</b>	<b>3,824</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>18,976</b>	<b>21,289</b>

### Point 1 中間連結貸借対照表

＜総資産＞ 固定資産の減少、受取手形及び売掛金の減少、現金及び預金の減少などにより、前期末に比べ2,313百万円減少しました。

＜純資産＞ 為替の円高による為替換算調整勘定の減少、中間純損失の計上による利益剰余金の減少などにより、前期末に比べ1,333百万円減少しました。

### Point 2 中間連結損益計算書

＜売上高＞ 前期から見込んでいたとおり、光ディスクドライブの市況の悪化に伴う競争の激化による当社製品のシェアダウンにより、売上高が減少しました。

＜営業利益＞ 売上高の減少に対応するため、希望退職を含む構造改革を実施しましたが、人件費削減等の効果は第3四半期以降に顕著となります。

### Point 3 中間連結株主資本等変動計算書

＜株主資本＞ 平成23年6月23日開催の定時株主総会決議に基づき、平成23年7月26日付で欠損填補に伴う減資を行いました。これにより、資本金が781百万円、資本剰余金が701百万円それぞれ減少し、利益剰余金が1,482百万円増加しました。

## 中間連結損益計算書 (要約)

(単位: 百万円)

	当中間期	前中間期
	平成 23 年 4 月 1 日～ 平成 23 年 9 月 30 日	平成 22 年 4 月 1 日～ 平成 22 年 9 月 30 日
売上高	12,857	19,437
売上原価	8,461	13,361
売上総利益	4,396	6,075
販売費及び一般管理費	4,834	5,770
営業利益 又は 営業損失 (△)	△ 438	305
営業外収益	66	55
営業外費用	312	451
経常損失 (△)	△ 684	△ 90
特別利益	21	28
特別損失	20	379
税金等調整前中間純損失 (△)	△ 684	△ 441
法人税、住民税及び事業税	△ 4	26
法人税等調整額	△ 4	△ 7
少数株主損益調整前中間純損失(△)	△ 675	△ 461
中間純損失 (△)	△ 675	△ 461

## 中間連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)

(単位: 百万円)

	当中間期	前中間期
	平成 23 年 4 月 1 日～ 平成 23 年 9 月 30 日	平成 22 年 4 月 1 日～ 平成 22 年 9 月 30 日
営業活動による キャッシュ・フロー	△ 736	△ 872
投資活動による キャッシュ・フロー	68	△ 752
財務活動による キャッシュ・フロー	△ 10	△ 347
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 192	△ 259
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 870	△ 2,232
現金及び現金同等物期首残高	4,593	6,359
現金及び現金同等物 中間期末残高	3,723	4,126

## 中間連結株主資本等変動計算書

(平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額			純資産 合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その 他有 価証 券 評価 差額 金	為替換 算調 整勘 定	その 他の 包括 利益 累計 額合 計	
平成 23 年 3 月 31 日残高	6,781	1,008	687	△ 106	8,369	99	△ 4,645	△ 4,545	3,824
中間連結会計期間中の変動額									
資本金から剰余金への振替	△ 781	781			—				—
欠損填補		△ 1,482	1,482		—				—
中間純損失 (△)			△ 675		△ 675				△ 675
自己株式の取得				△ 0	△ 0				△ 0
株主資本以外の項目の中間連結 会計期間中の変動額 (純額)						△ 57	△ 600	△ 657	△ 657
中間連結会計期間中の変動額合計	△ 781	△ 701	807	△ 0	△ 675	△ 57	△ 600	△ 657	△ 1,333
平成 23 年 9 月 30 日残高	6,000	306	1,494	△ 106	7,694	42	△ 5,245	△ 5,202	2,491



中間貸借対照表 (要約)

(単位：百万円)

	当中間期 平成23年9月30日現在		当中間期 平成23年9月30日現在
<b>■ 資産の部</b>		<b>■ 負債の部</b>	
<b>流動資産</b>	10,607	<b>流動負債</b>	10,114
現金及び預金	3,376	支払手形	493
受取手形	62	買掛金	1,341
売掛金	4,419	短期借入金	7,075
商品	1,761	1年内返済予定の長期借入金	14
原材料	550	賞与引当金	207
その他	1,047	製品保証引当金	84
貸倒引当金	△ 610	返品調整引当金	25
<b>固定資産</b>	12,379	その他	872
有形固定資産	1,901	<b>固定負債</b>	7,068
無形固定資産	51	<b>負債合計</b>	17,182
投資その他の資産	10,427	<b>■ 純資産の部</b>	
<b>資産合計</b>	22,987	<b>株主資本</b>	5,761
		資本金	6,000
		資本剰余金	306
		利益剰余金	△ 438
		自己株式	△ 106
		評価・換算差額等	42
		<b>純資産合計</b>	5,804
		<b>負債及び純資産合計</b>	22,987

中間損益計算書 (要約)

(単位：百万円)

	当中間期 平成23年4月1日～ 平成23年9月30日
売上高	10,392
売上原価	7,291
返品調整引当金戻入額	0
売上総利益	3,100
販売費及び一般管理費	3,388
営業損失 (△)	△ 287
営業外収益	134
営業外費用	231
経常損失 (△)	△ 384
特別利益	15
特別損失	96
税引前中間純損失 (△)	△ 465
法人税、住民税及び事業税	△ 23
法人税等調整額	△ 3
中間純損失 (△)	△ 438

中間株主資本等変動計算書

(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(単位：百万円)

	株主資本							評価・換算 差額等	純資産 合計
	資本金	資本剰余金			自己株式	株主資本 合計	その他 有価証券 評価差額金		
		資本準備金	その他 資本剰余金	資本剰余金 合計					
平成23年3月31日残高	6,781	1,008	—	1,008	△ 1,482	△ 106	6,199	99	6,299
中間会計期間中の変動額									
資本金から剰余金への振替	△ 781		781	781			—		—
準備金から剰余金への振替		△ 1,008	1,008	—			—		—
欠損填補			△ 1,482	△ 1,482	1,482		—		—
中間純損失 (△)					△ 438		△ 438		△ 438
自己株式の取得						△ 0	△ 0		△ 0
株主資本以外の項目の中間 会計期間中の変動額 (純額)								△ 57	△ 57
中間会計期間中の変動額合計	△ 781	△ 1,008	306	△ 701	1,044	△ 0	△ 438	△ 57	△ 495
平成23年9月30日残高	6,000	—	306	306	△ 438	△ 106	5,761	42	5,804



## PC オーディオの新境地を拓く USB オーディオ デュアルモノラル D/A コンバーター 『UD-H01』を新発売

TEAC

近年急速に普及している PC オーディオ (USB オーディオ) をより高いクオリティで楽しんでいただくために、高度なデジタル処理技術を投入し、また、アナログ回路の見直しを実施することで高いクオリティを実現した USB オーディオ デュアルモノラル D/A コンバーター『UD-H01』を全国のオーディオ店および量販店を通じて発売開始しました。高音質 PC オーディオの世界をいつでも楽しめるよう高品位のヘッドホンアンプも搭載し、日本の住宅事情においても周囲や時間を気にすることなくデジタルオーディオの世界を堪能いただけます。

TEAC Reference01 シリーズとして、『UD-H01』に続き、USB DAC/ステレオプリメインアンプ『A-H01』および iPhone/iPad/iPod 用ドッキングステーション『DS-H01』も順次発売し、オーディオの新しいカテゴリーとして成長しつつある PC オーディオに注力していきます。



## 高解像度医用動画レコーダ 『UR-50BD』を新発売

TEAC

医用画像記録での 20 年以上にわたる経験、内視鏡、超音波診断装置等の医用画像診断装置メーカーとのパートナーシップを生かし、高度医療の診察や検査現場での需要に応えるべく高解像度映像出力を持った医用画像診断装置からの画像信号を記録する高解像度医用動画レコーダ『UR-50BD』を開発、2011 年 7 月より発売開始しました。



## どこでも手軽にレコーディング。 ファントム電源対応 iPad/iPhone/iPod touch 用 マイク/ギターインターフェース『iXZ』を新発売

TASCAM

身近な存在として普及しているデジタルオーディオプレーヤー (iPad/iPhone/iPod touch) で手軽に音楽制作を楽しむユーザー向けに、マイク/ギターインターフェースを開発、発売開始しました。タスカムならではの“高音質設計”を行い、ファントム電源への対応もでき、本格的なコンデンサーマイクの接続も可能。様々な用途で便利に活用いただけます。



iPad、iPhone、iPod および iPod touch は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。

## ■ 会社の概要

商号 ティアック株式会社 (TEAC CORPORATION)  
 本社 〒206-8530 東京都多摩市落合一丁目 47 番地  
 設立 昭和 28 年 (1953 年) 8 月 26 日  
 資本金 60 億円  
 事業年度 4 月 1 日～翌年 3 月 31 日  
 代表者 代表取締役社長 英 裕治  
 従業員数 単体 387 名 連結 1,849 名

## ● 主なグループ事業内容

### 音響機器事業

高級 AV 機器  
 一般 AV 機器  
 音楽制作オーディオ機器  
 特殊イヤホン機器

### 情報機器事業

航空機搭載用記録再生機器  
 医用画像記録機器  
 計測機器 (トランスデューサー、データレコーダー)  
 通話録音機器  
 ソリューションビジネス  
 介護支援個別ケアシステム  
 ディスクパブリッシング機器  
 コンピューター周辺機器  
 民生用および産業用製品向けドライブ

## ● オリジナルブランド

ティアック、タスカム、エソテリック

## ■ 役員

代表取締役社長	英 裕 治
取 締 役	野 村 佳 秀
取 締 役	吉 田 啓 介
取 締 役	椎 原 祥 一 朗
取 締 役	中 尾 光 成
取 締 役	前 野 龍 三
常 勤 監 査 役	牧 野 信 明
監 査 役	平 岡 繁
監 査 役	原 琢 己

## 当社ホームページのご案内

当社は、ニュースリリースや決算発表資料などを、自社ホームページに掲載しています。

➡ 投資家向け情報



<http://www.teac.co.jp>

## 株式の状況

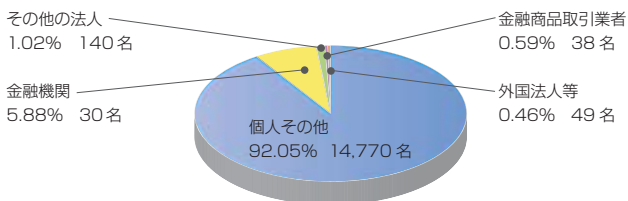
発行可能株式総数	400,000,000 株
発行済株式の総数	289,317,134 株
株主数	15,027 名

## 大株主（上位 10 名）

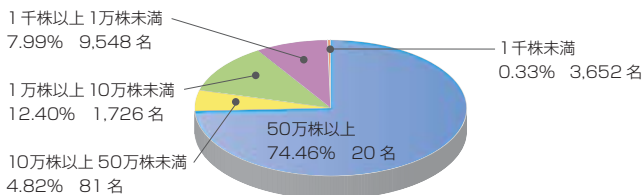
株 主 名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
フェニックス・キャピタル・ パートナーズ・ワン投資事業組合	177,063	61.20
ジャパン・リカバリー・ファンドⅢ	18,000	6.22
株式会社三菱東京UFJ銀行	3,433	1.18
明治安田生命保険相互会社	2,201	0.76
東京海上日動火災保険株式会社	2,007	0.69
株式会社損害保険ジャパン	1,342	0.46
株式会社相川プレス工業	1,240	0.42
ティアック取引先持株会	1,238	0.42
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社（信託口）	1,035	0.35
ティアック社員持株会	910	0.31

(注) 上記のほか、当社は自己株式 969 千株を保有しております。

## 株式所有者別状況



## 株式所有数別状況



## 株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

配当金受領株主確定日 3月31日

単元株式数 1,000株

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081  
東京都江東区東砂七丁目10番11号  
TEL 0120-232-7111 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部

公告の方法 電子公告により行う。

公告掲載URL <http://www.teac.co.jp/about/jp/koukoku.html>  
(ただし、やむを得ない事由により、電子公告  
によることができない場合は、日本経済新聞  
に公告します。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。

## ■ ティアックストアのご紹介 ■

当社が製造する製品や輸入代理店として扱っている製品を販売しています。

**TEAC** <sup>store</sup>  
http://store.teac.co.jp



< 取り扱いブランド >

**TEAC**  
**TASCAM**

in**Core**

**Filltune**

**beyerdynamic**

**KOSS**

**DRAWMER**



- 仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。
- 製品の色は、撮影や印刷の関係で実際の色と異なって見えることがあります。
- その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

## ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合一丁目47番地

TEL 042-356-9100 (代表)

ホームページアドレス <http://www.teac.co.jp>

